

中山忠彦展



《45年目の良江》(2008年)



《マスク》(1991年)



《MADAME YOSHIE NAKAYAMA》(1992年)



《ダンテの椅子》(2009年)

市川市では、ゆかりの文化人や芸術家を広く紹介するために「市川の文化人展」を開催しています。今回は、平成26年に市制施行80周年を記念して、新たに名誉市民として顕彰された日本藝術院会員で、洋画家の中山忠彦氏(1935-)をご紹介します。

中山忠彦氏は、福岡県に生まれ、大分県で育ちます。高校卒業後、画家を志し、上京。故 伊藤清永氏に師事し、日展や白日会展を中心に活躍されています。

二十代の頃は、裸婦を中心に描いていた中山氏ですが、1965年(昭和40)の結婚を機に、良江夫人をモチーフとした着衣の女性像へと作品は大きく変化します。

優美で繊細、静謐な中に気品あふれる作品は、女性の美しさを追及するとともに豊かな内面性を表現し、高く評価されています。

13年ぶりに市川での開催となる本展では、初期から近年までの画業を語る約20点の代表作品により、中山芸術の真髄に迫ります。

作家略歴

1935(昭和10)年	福岡県に生まれる
1953(昭和28)年	高校卒業後、伊藤清永の内弟子となる
1954(昭和29)年	第10回日展に《窓辺》を初出品、初入選
1955(昭和30)年	白日会第31回展に《裸婦》《黄衣》を初出品、船岡賞を受賞
1966(昭和41)年	結婚後、市川市に住居を構える
1980(昭和55)年	白日会第56回展に《放う》を出品し、内閣総理大臣賞受賞
1996(平成 8)年	第28回日展に《華粧》を出品し、内閣総理大臣賞受賞
1998(平成10)年	《黒扇》にて日本藝術院賞受賞、日展理事就任、日本藝術院会員となる
2001(平成13)年	第3回市川の文化人展「洋画家 中山忠彦・美の世界展」(市川市文化会館)開催
2002(平成14)年	白日会会長に就任、市川市文化振興財団理事となる(〜'14)
2007(平成19)年	市川市市政功労賞受賞、北九州市民文化賞受賞
2009(平成21)年	日展理事長就任(〜'13)、中津市民栄誉賞受賞
2014(平成26)年	市川市名誉市民として顕彰

関連イベント

■中山忠彦ギャラリートーク(入館料のみ必要、先着50名)

2月21日(土) 14:00～

■ギャラリーコンサート(入館料のみ必要、先着50名)

2月28日(土) 14:00～15:00

♪演奏:佐々木萌絵(フルート)・石丸隆(ハープ)

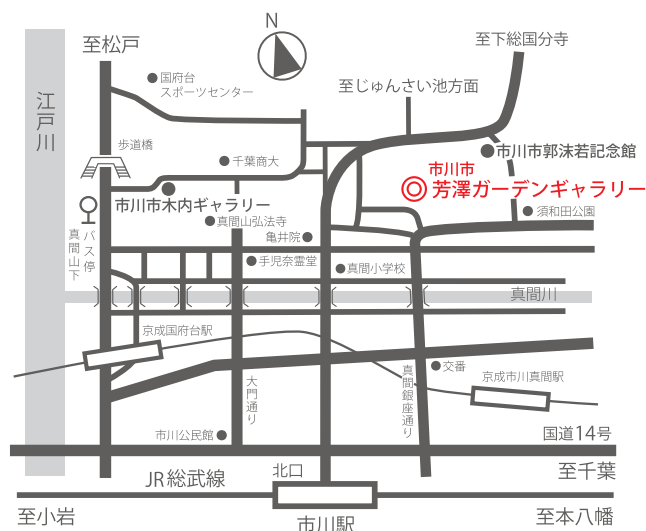
3月8日(日) 14:00～15:00

♪演奏:中川直子(バイオリン)・ピーティ田代櫻(チェロ)

■お茶席(入館料のほか、一席500円が必要)

2月21日(土)、3月7日(土) 10:00～16:00

※イベント開催時には会場が混雑する場合がございます。ご了承ください。



市川市芳澤ガーデンギャラリー

千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687

<http://www.tekona.net/yoshizawa/index.php>

□ JR市川駅から徒歩約16分、京成市川真間駅から徒歩約12分

□ お車でのご来館はご遠慮ください。